



「鉄腕アトム」『手塚治虫漫画全集 鉄腕アトム』第1巻 表紙絵 1979(昭和54)年10月20日発行 講談社



「どろろ」『冒険王』扉絵 1969(昭和44)年8月号 秋田書店



「リボンの騎士」『なかよし』扉絵 1964(昭和39)年9月号 講談社
©手塚プロダクション

手塚治虫展

T E Z U K A O S A M U



「ジャングル大帝」『サンデー・コミックス』第1巻 表紙絵 1966(昭和41)年1月1日発行 小学館

2024年 2025年
12月7日(土) - 1月19日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時 (入場は午後4時30分まで)
休館日 12月9日(月)、16日(月)、23日(月)、年末年始 12月30日(月)～1月1日(水)、1月7日(火)、14日(火)

会場 新居浜市美術館 (あかがねミュージアム 2階) 展示室1・展示室2

*展示室2では手塚治虫グッズの販売もあります

| 区分 | 料金 *税込み |
|---------|-----------------|
| 一般 | 1,200円 (1,000円) |
| 高校生・大学生 | 1,000円 (800円) |
| 小学生・中学生 | 800円 (600円) |
| 未就学児 | 無料 |

* () 内は、前売り券、20名以上の団体、各種障がい者手帳等をお持ちの方(介助者1名を含む)、その他各種特別割引・キャンペーン適用等の料金です

* 一般料金以外でご利用の方は、学生証や年齢確認のできるものをお持ちください

* 小学生以下は保護者の同伴が必要です

前売り券 ■販売期間: 2024/10/4(金)～2025/1/18(土) (Lコード 61304)

■販売場所: ローソンチケット * 展覧会場での前売り券の販売はありません

ローチケweb(<https://l-tike.com/>)および全国のローソン、ミニストップ店内のLoppiにてお求めください

主催 手塚治虫展実行委員会
新居浜市、新居浜市教育委員会、新居浜商工会議所、新居浜文化協会、一般社団法人新居浜市観光物産協会、瀬戸内運輸株式会社 セトうちバス、イオンモール株式会社 イオンモール新居浜、株式会社ハートネットワーク、あかがねミュージアム運営グループ

企画製作 株式会社手塚プロダクション
製作協力 東映株式会社

Contents of exhibition

展覧会内容

手塚治虫は1928(昭和3)年11月3日、大阪府豊中市(旧・豊能郡豊中町)で、父・粂(ゆたか)、母・文子(ふみこ)の長男として生まれました。現在は、文化の日と呼ばれるこの日は、当時は明治節と呼ばれたことから、その一字をとって「治」と名付けられました。5歳の時に宝塚に引っ越し、24歳で上京するまでの約20年間に兵庫県宝塚市(旧・川野辺郡小浜村鍋野)で過ごしました。当時の宝塚はモダンな歌劇の街として全国的に知られる一方で、豊かな自然にも恵まれていました。

手塚はこの街で友人たちと昆虫採集を楽しんだり、家族と宝塚歌劇や映画を観たりしながら少年時代を過ごしました。しかし一方で戦争というつらい体験をしたのもこの宝塚時代でした。幼い頃からの様々な経験は、後に手塚の創作に大きく影響していきます。

このコーナーでは、宝塚時代の手塚の足跡をたどりながら、手塚治虫を育んだものを本人のコメントと資料によりご紹介いたします。

BIRTH OF TEZUKA OSAMU

PART 1

第1部 手塚治虫の誕生

THE ART OF TEZUKA OSAMU

PART 2

第2部 作家・手塚治虫



手塚治虫は17歳でデビューを果たしてから60歳でこの世を去るまでの43年間にわたり、第一線の作家として活躍しつづけてきました。そんな手塚治虫には作家としての二つの顔がありました。ひとつは「マンガ家」そして、もうひとつは「アニメーター」の顔です。

マンガ家・手塚治虫は、より迫力のある構図や、ストーリー性を感じさせるマンガを目指し「ストーリーマンガ」と呼ばれる新たなマンガ表現の確立に努めました。

また、アニメーター・手塚治虫は、国産初の30分テレビアニメシリーズの放送を成功させるなど、アニメーション界における「不可能」に挑戦し、新たな可能性を広げました。そして、その一方でアニメーションの「動き」の研究にも力を注ぎ、数々のアニメーションを制作しました。

従来の常識にとらわれることなく、新しいアイデアを作品に取り込んでいくことが、作家・手塚治虫の基本的な姿勢でした。

このコーナーでは、マンガとアニメーションの代表的な作品を展示すると共に、手塚の制作手法やその効果等もあわせてご紹介いたします。

手塚治虫はマンガやアニメーションの物語の中に、読者へのメッセージを込めていました。その思いを手塚自身、以下のように述べています。

“僕は今までたくさんマンガを描いてきましたけれど、マンガにはお話がついてます。そのお話はいい加減なお話じゃなくて、できたら僕がこういうことを相手に伝えたいな、こういうことを読者に伝えたいな、こういうことを子どもたちに伝えたいな、と思う一つのテーマみたいなのがあって、そのテーマを僕はそのマンガの中に入れたわけ。だからそのテーマを読んだ子どもたちは、読者が「わっ、手塚治虫ってこういうことを言いたかったのか、このマンガはこういうことを言いたかったのか」と受け取ってくれる、これが僕はマンガの一番大きな強い点だと思うんです。”

1988(昭和63)年2月13日「朝日賞受賞記念講演(会場:有楽町朝日ホール)」より

このコーナーでは、手塚治虫のメッセージの一部を作品と共にご紹介いたします。

MESSAGE FROM TEZUKA OSAMU

PART 3

第3部 手塚治虫のメッセージ



「手塚ワールド」へようこそ!



「ジャングル大帝」直筆原稿 1950～1954年



「リボンの騎士」直筆原稿 1953～1956年



「火の鳥」直筆原稿 1967～1988年



「ブラック・ジャック」直筆原稿 1973～1983年

Events 関連イベント

★オープニング記念イベント

「鉄腕アトム」がやってくる!!

オープニングセレモニー

日時：2024年12月7日(土) 9:15~

場所：屋内ステージ

参加：約50名 無料 (要観覧券・申込み不要)

*「鉄腕アトム」9:30・12:30・15:30 ころ登場!



★体験・ワークショップ

1.ぬりえ体験!!

手塚治虫キャラクターに色を塗ってみよう。

日時：開催期間中 毎日 9:30~17:00

場所：2F展示ロビー (展示室2前)

参加：無料 (要観覧券・先着順)

2.マンガワークショップ

マンガを描いてみよう。
手塚治虫キャラクターの下絵に、筆ペンを使って
線を描いたり塗りつぶしたり、スクリーントーンを
貼ったりして、マンガの表現を体験してみよう。

日時：2024年12月22日(日)

①10:00~ ②13:30~

場所：創作スペース 対象：小・中学生

参加：各回12名 無料 (要観覧券・要申込み)

3.アニメワークショップ

アニメを楽しく体験。
アニメのしくみを体験して、ソーマトロープで
描いた絵を動かそう。

日時：2025年1月4日(土)

①10:00~ ②13:30~

場所：創作スペース 対象：年長~小学生

参加：各回12名 無料 (要観覧券・要申込み)

★ギャラリートーク

展覧会を制作した鈴木美香さんによるギャラリートーク。

ナビゲーター：鈴木美香さん

手塚プロダクション 資料開発部 部長

日時：2025年1月12日(日)

①11:00~ ②14:00~ *各回約30分

場所：展示室1・2

参加：約20名 無料 (要観覧券・申込み不要)

★手塚治虫作品 講演会&上映会・トーク

講演会

手塚治虫のもと作品制作に携わった清水義裕さんが語る
手塚治虫のマンガとアニメについて、
午後の上映会とあわせて、ぜひご参加ください。

出演：清水義裕さん 手塚プロダクション 取締役

日時：2025年1月13日(月・祝) 11:00~*約60分

場所：多目的ホール(あかがね座)

参加：200名限定 無料 (要観覧券・要整理券)

*2024年11月22日(金)9:30から1F総合案内で
整理券を配布します

上映会「海底超特急 マリン・エクスプレス」

TVシリーズ作品 24時間TV
スペシャルアニメ 1979年8月28日公開
日本テレビ系放映作品 91分/カラー

アフタートーク

上映会にひきつづきアフタートークをお楽しみください。

出演：清水義裕さん 手塚プロダクション 取締役

日時：2025年1月13日(月・祝) 13:15~16:00

場所：多目的ホール(あかがね座)

参加：200名限定 無料 (要観覧券・要整理券)

*2024年11月22日(金)9:30から1F総合案内で
整理券を配布します



「第11回コミック・コンベンション」ポスター用直筆カラー原稿
1980年(昭和55年)頃

©手塚プロダクション

お得なキャンペーン

1.「イオンモールからバスに乗って手塚展へいこう!」 バス利用促進キャンペーン

展覧会の開催期間中「手塚治虫展 バスポート」を発行!

*発行場所：ハートステーション イオンモール新居浜店
(受付時間 10:00~19:00)

[イオンモール新居浜]~[新居浜駅]のバスを利用して
展覧会へご来館の方に

- ・1回目から使える観覧料 200円割引
- ・2回目の観覧料 200円割引+記念品プレゼント
- ・3回目の観覧無料 (先着50名様限定)

など特典がいっぱい!ぜひご利用ください!

*受付場所：あかがねミュージアム 1F総合案内 チケット販売所 (展覧会の開催期間中 9:30~16:30)

*本券をご利用の際は、あかがねミュージアム駐車場【3時間無料 駐車サービス券】はお渡しできません



2.「手塚治虫グッズ100円割引券」 クルマ以外・公共交通機関利用ご来館キャンペーン

展覧会の開催期間中、徒歩・自転車・バイクや、バス・タクシー・JR等を利用してご来館の方に
「手塚治虫グッズ100円割引券」をお渡しします

展覧会場内の物販特設会場(展示室2)で

「手塚治虫グッズ」ご購入の合計金額(税込)から100円を割引!

*配布場所：あかがねミュージアム 1F総合案内 (展覧会の開催期間中 9:30~16:30)

*割引は、1回のご購入が1,000円(税込)以上の場合に限りです(ご入場の当日に限り有効)

*本券をご利用の際は、あかがねミュージアム駐車場【3時間無料 駐車サービス券】はお渡しできません

3.「手塚展アンケートに答えてグッズを当てよう!」 アンケートご回答キャンペーン

展覧会のアンケートにお答えいただいた方に

抽選で「手塚治虫グッズ」をプレゼント! (当選の50名様限定)



宝塚市立手塚治虫記念館

見て、触れて、感じる、手塚治虫の世界

手塚治虫は、5歳から約20年間を

兵庫県宝塚市で過ごしました。

その宝塚に、手塚が生誕地を越えた

「自然への愛と生命の尊さ」をテーマに

手塚治虫記念館は開館しました。

詳しくは… [手塚治虫記念館](#) [検索](#)

- 開館時間 / 午前9時30分~午後5時まで
入館は閉館30分前まで
- 休館日 / 毎週月曜日(祝日と重なる日は開館)
年末(12月29日~31日)
- お問い合わせ先 /
宝塚市立手塚治虫記念館
TEL 0797-81-2970
- 交通
●JR・阪急宝塚線「宝塚」駅下車、
花のみちを徒歩約8分
- 阪急多摩線「宝塚南口」駅下車、
宝塚大橋を渡り徒歩約5分

同時開催イベント

■「手塚治虫文化賞-受賞マンガ作品を紹介-」

手塚治虫氏の志を継いでマンガ文化の健全な
発展に寄与することを目的に、朝日新聞社が
1997年に創設した賞です。受賞マンガ作品を
展示し、手にとってご覧いただけます。

日時：開催期間中 毎日 9:30~17:00

場所：にいはまギャラリー (無料)

■「パラパラマンガを描いてみよう」

手帳にマンガを描いてアニメ作品に挑戦!

日時：開催期間中 毎日 9:30~17:00

場所：にいはまギャラリー

参加：無料 (参加自由・先着順)

*材料に限りがあるため、なくなり次第終了します

■「アニメ体験 トレースに挑戦」

作画用紙・タッパ・ライトトレース台を使って

絵を描いてトレースしてみよう!

日時：開催期間中 毎日 9:30~17:00

場所：にいはまギャラリー

参加：無料 (参加自由・先着順)

*材料に限りがあるため、なくなり次第終了します



「マンガの神様」と称されてきた手塚治虫は、17歳のデビューから60歳でこの世を去るまで第一線で活躍し、数多くの個性的なキャラクターを生み出してきました。子どもから大人までを魅了する幅広いジャンルの作品は、没後35年を経た今も、日本はもとより世界中の人々から高く評価されています。そこには作家が生涯問い続けた人間や生命の根源に関わる深いテーマやメッセージが込められ、多様な事態に直面する現代においても普遍的な輝きを放っています。



「海のトリトン」サンデー・コミックス『海のトリトン』第2巻 表紙絵 1973(昭和48)年1月25日発行 秋田書店



「ふしぎなメルモ」『よいこ』扉絵 1971(昭和46)年5月号 小学館

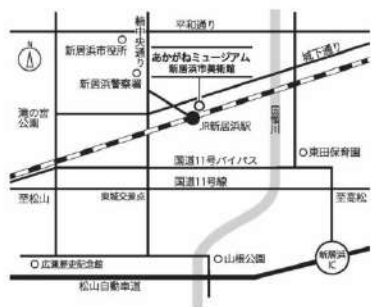
本展は「ジャングル大帝」「鉄腕アトム」「リボンの騎士」「火の鳥」「ブラック・ジャック」などの代表作を生み出した足跡を紹介するとともに、ストーリーマンガの確立、アニメーションへの挑戦など、多様な視点でその業績を振り返るものです。

生涯に手がけた約15万枚におよぶ原稿から厳選した約300枚と、映像・資料・愛用の品々などもあわせて紹介し、作家が未来へ託したメッセージを読み解きます。

魅力的なキャラクターによって繰り広げられる「手塚ワールド」を、ぜひお楽しみください。

©手塚プロダクション

【交通案内】



[電車]JR予讃線「新居浜」駅から徒歩すぐ
[バス]せとうちバス「新居浜駅」下車徒歩すぐ
[車]松山自動車道新居浜ICからJR新居浜駅方面へ車で15分
*ナビ設定は、住所検索か、JR新居浜駅検索をご利用ください

敷地内の駐車場(有料/約60台)

*あかがねミュージアムをご利用の場合に限り [3時間無料 駐車サービス券]を1F総合案内にてお渡しします

周辺にも駐車場(有料/約100台)があります

*駐車場には限りがあります 公共交通機関をご利用ください

新居浜市美術館

Niihama City Museum of Art

〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町 2-8-1

Tel. 0897-65-3580 / Fax. 0897-65-3581

<https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/bijutu/>



Akagane Museum

創る・学ぶ・育む

あかがねミュージアム Webサイト をご覧ください

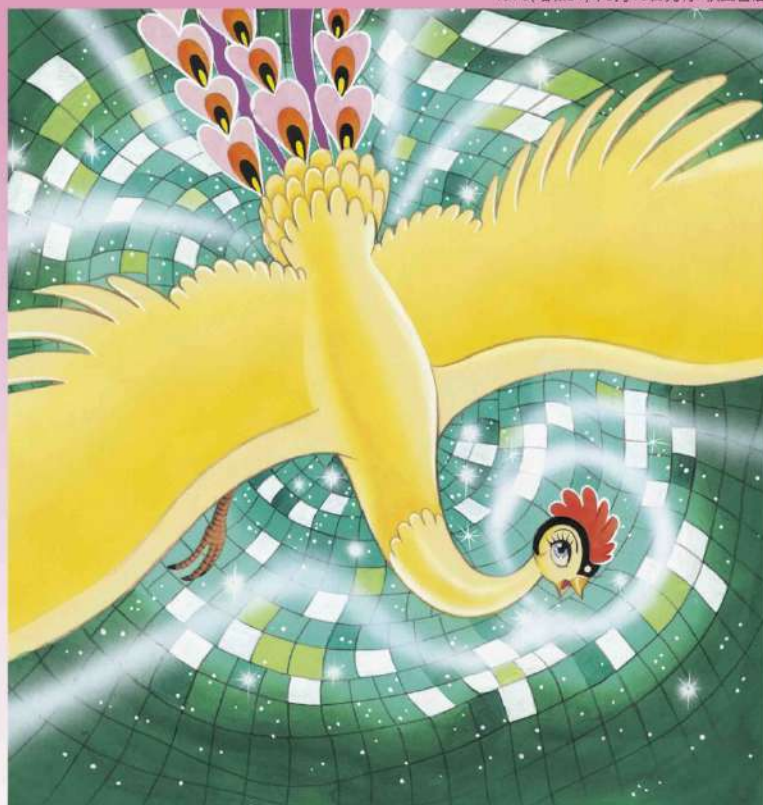
★関連イベントやお得なキャンペーンなど最新の情報、交通案内はこちら...

■ 問い合わせ先 あかがねミュージアム運営グループ

TEL.0897-31-0305 (9:30~17:00)



「ブラック・ジャック」『週刊少年チャンピオン ブラック・ジャック特集』増刊号 表紙絵 1976(昭和51)年3月10日発行 秋田書店



「火の鳥」『月刊マンガ少年』「火の鳥 ヤマト・宇宙編」表紙絵 1976(昭和51)年10月1日発行 朝日ソノラマ



手塚 治虫

1928-1989

てづか おさむ

本名 手塚 治

日本のマンガ家。大阪府豊中市生まれ。兵庫県宝塚市に育つ。

大阪大学附属医学専門部卒業。医学博士。1946年新聞連載の4コママンガ「マアチャンの日記帳」でデビュー。1947年『新寶島』が大ヒットする。以来、日本のストーリーマンガの設立に尽くす。

また、アニメーションの世界でも、1963年に国産初となる30分テレビアニメーションシリーズ「鉄腕アトム」の放送を実現するなど、大きな業績を残す。

代表作に「鉄腕アトム」「リボンの騎士」「火の鳥」「ブラック・ジャック」「三つ目がとおる」などがある。